

第七十四回
貴族院

酪農業調整法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

酪農業調整法案

委員氏名

委員長	子爵米津	政賢君
副委員長	男爵周布	兼道君
	侯爵西郷吉之助君	
	男爵岩村	
	有賀	一木君
	岡田	光豊君
	瀧川	儀作君
	油井	徳藏君
	水野甚次郎君	

○政府委員(林謙治君)	只今御手許ニ差出シマシタ酪農業調整法案ニ付キマシテ、農林大臣御出席ニナッテ御説明申上ゲル譯デアリマスケレドモ、折柄他ノ委員會ニ出席ヲ致シテ居リマス關係上、據ロナク出席ガ出来マセヌノデ、代リマシテ私カラ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲタイト考ヘマス、酪農業
-------------	---

調整法案提案ノ理由ニ付キマシテハ、大體本會議ニ於テ御説明申上ゲマシタ通リデアリマスガ、此ノ際本案ノ趣旨ト内容ニ付キマシテ少シク詳細ニ御説明申上ゲタイト思ヒ及ニ伴ヒマシテ、急速ナル發達ヲ致シマシテ、牛乳ニ付テハ其ノ生産量約百六十餘萬石、價格約三千七百萬圓ヲ產シ、又煉粉乳「バター」等ノ乳製品ニ付キマシテハ生産額約二千九百萬圓ヲ產シ、其ノ一部ハ南洋、「ヨーロッパ」等ノ海外市場へ盛ニ進出シツ、アル狀況デアリマス、併シナガラ牛乳ノ生産カラ加工販賣ニ至ル過程ニ付テ仔細ニ觀マスルニ、其ノ間ニ種々ナル事情ガ錯雜シテ居リマシテ、殊ニ牛乳生産業者ト乳製品製造業者トノ間、或ハ當業者相互間ノ競争摩擦等ハ、今後益進展スベキ本法酪農業ノ根本的障害トナッテ居ルノデアリマス、從ツテ是等ノ關係ヲ調整シマシテ、酪農業全體ヲ組織化シ、且酪農產物ノ生產及ビ販賣ヲ合理的ナラシメマスクトハ、我ガ國酪農業ヲ益進展サセマシテ、農家ノ生活安定ヲ生産致シマシテ、一面ニ於テハ國民體位

ノ向上ニ資シ、他面又本法乳製品ノ海外進出ヲ致シマスル上ニ於テ誠ニ緊要ト考ヘラレ茲ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、即チ法案第五條ニ依リマス、申上ゲマス、第一ハ牛乳生産者ノ團體ニ依ル販賣ノ合理化デアリマス、即チ法案第二條及ビ第三條ニ依リマシテ、畜產組合其ノ他ノ適當ナ團體ガ行ヒマスル牛乳ノ販賣ノ統制ニ對シ、行政官廳ガ適當ナル監督ヲ加ヘマスト共ニ、必要ニ應ジ牛乳生産者ニ對シマシテ、團體ノ行ヒマスル統制ニ從フベキコトヲ命ジ得ルコトト致シマシテ、生産者ノ團體ニ依ル牛乳ノ販賣方法ヲ一層合理化セムトスルモノデアリマス、第一ハ主要ナル牛乳取引ニ關スル許可制デアリマス、即チ法案第四條ニ依リマシテ、牛乳ノ販賣事業又ハ乳製品ノ製造事業ヲ爲スモノガ、主ナル酪農地域ニ於ケル農家ノ生產牛乳ヲ繼續シテ取引ヲ爲ス場合ニ於キマシテ、其ノ價格數量其ノ他ノ事項ニ付、行政官廳ノ

許可ヲ要スルコト致シマシタ外、此ノ取引ノ公正ヲ確保致シマス爲ニ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトシタノデアリマス、第三ハ擦ヲ調整セムトスルモノデアリマス、以上

ノ向上ニ資シ、他面又本法乳製品ノ海外進出ヲ致シマスル上ニ於テ誠ニ緊要ト考ヘラレ茲ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、即チ法案第五條ニ依リマス、申上ゲマス、第一ハ牛乳生産者ノ團體ニ依ル販賣ノ合理化デアリマス、即チ法案第二條及ビ第三條ニ依リマシテ、畜產組合其ノ他、其ノ事業ニ關製品ノ種類及ビ數量其ノ他、其ノ事業ニ關スル事項ニ付主務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要スルコト致シマシテ、從來兎角其ノ弊ニ陥リ勝チナ製酪工場ノ濫立ヲ防止致シマスルト共ニ、牛乳ノ生産ノ弊正ナラシメ、製酪工場ト牛乳生産者トノ共存共榮ノ實ヲ舉ゲムトスルノデアリマス、第四ハ製酪業組合ノ創設デアリマス、即チ法案第六條乃至第十七條ニ依リマシテ、製酪業ノ改良發達及び統制ヲ圖ル爲、製酪業者ニ全國唯一ノ統制團體タル製酪業組合ヲ創設セシメ、乳製品ノ製造、販賣及ビ出荷ニ關スル共同施設、乳製品ノ検査及ビ其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業ヲ自治的ニ行ハシメムトスルモノデアリマシテ、之ニ對シマシテハ主務大臣ガ十分ナル監督ヲ加

ガ酪農業調整法案ノ趣旨ト内容ノ概要デア
リマスルガ、尙政府ニ於キマシテハ、本
制度ノ運用ノ圓滑ヲ期シ其ノ目的達成上遺
憾ナカラシヌマス爲ニ、中央及ビ地方酪農
協議會ノ開催、製酪業統制施設助成等ノ豫
算ヲ別ニ計上致シマシテ御協賛ヲ願ッテ居
ル次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上速
カニ御可決アラムコトヲ希望致シマス

○男爵岩村一木君 私、委員長ニ伺ヒ致シマ
スケレドモ、只今参考資料ヲ戴イタバカリ
デマダ能ク見テ居リマセヌガ、併シ此ノ法案
關係ニ付テ質問致シタイコトモアリマスシ、
又法文ノ中ノ條文ニ付テモ伺ヒタイシ、ソ
レカラ又戴イタ参考資料ニ付テ能ク見タ上
デ更ニ伺フベキコトガアレバ伺ヒタイ、御
審議ノ方針ハドウ云フ風ニ御進ヌニナル御
積リデゴザイマスカ、初メ法案ニ關スルコ
トヲ全部質問ノ後ニ、各條ニ瓦ル、斯ウ云
フ御方針ヲ御執リニナルノデアリマスカ、
ソレヲ先ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○委員長(子爵米津政賢君) 比較的簡單ナ
法案デゴザイマスケレドモ、矢張リ最初ニ
一般的ノ質問ヲ願ヒマシテ、ソレカラ一應
段落ノ付キマシタ所デ、各條ニ付テ審議シ
タイ、會期モ迫ッテ居リマスコトデスカラ、
總テノ進行ヲ早クスルヤウニ心懸ケタイト

思ッテ居リマス、順序トシテハ總括的ノ質
問、次イデ各條ニ亘ツテノ審議ヲシ、ソレカ
ラ討論、採決ト云フ普通ノ順序ニシタ方ガ
算ヲ別ニ計上致シマシテ御協賛ヲ願ッテ居
ル次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上速
カニ御可決アラムコトヲ希望致シマス

○男爵岩村一木君 只今政府ノ提案ノ御趣
旨ニ付テハ大體了承致シマシタガ、極ク手
短カニ質問致シタイト思ヒマス、言フ迄モ
ナク牛乳竝ニ乳製品ト云フモノガ、國民保
健士其ノ他病患者ノ方面ニナクテハナラナ
イ必需品デアルト云フコトハ申ス迄モアリ
マセヌケレドモ、此ノ生産、加工ヲ現在ノ
儘ニ放置シテ置キマスト、惡イ結果ニナル
ト云フ考ガ起ラレタ爲ニ、本法案ヲ提案サ
レ却テ統制ノ爲ニ、種々ノ關係モアルコト
デセウケレドモ、政府ノ豫期ニ反シタ例モ
少クナイヤウデアリマス、本法ニ依リマシ
ル所モアリマス、是等が今回ノ調整ニ依リ
マシテ十分ニ取締ガ出來、地方長官モ之ニ對
シテ從來ノ立場ヨリモ一層力強ク働キ掛ケ
ルト云フコトガ出來得ルト思フノデアリマ
シテ、其ノ方面ニ於テ、農家ハ一層安定シ
タ狀態ニ於テ仕事が出來テ行ク譯デアリマ
ス、又サウ云フ風ニ致シマスト、生産方面
ニ於キマシテ、從來其ノ乳ノ運搬其ノ他ニ
ノデアリマスガ、ソレ等ノ無駄ガ省ケル、
從ヒマシテ是ハ生産費ニモ影響ヲ及シテ參
ル、斯ウ云フ風ナコトガアリマスシ、又共
同シテヤリマス結果、從來ヨリモヨリ優良
モ從來一等乳デアリマスモノガ一等乳ニ、
等外乳デアツタモノガ又二等以上ニナルト云
フヤウナコトニ相成リマスカラ、農家トシ
テモ知ラズ識ラズノ間ニ利益ガ舉シテ來ル、

マスガ故ニ、此ノ農家ニ潤ヒガ來ナケレバ
ナラスト思ヒマス、又製酪業者ノ造ル所ノ
部落ノ利益ヲ破壊シテ、結局ニ於テ他人モ
自分モ不安ナ状態ニ落チ込ンデ行クト云フ
ヤウナコトガナクナツテ、極メテ安定シタ仕
事ノ下ニヤツテ行ケル、斯ウ考ヘルノデアリ
マス、尙從來ノ取引状態ニ於キマシテモ殆
ド自由ニサレテ居ル結果、地方ニ依リマシ
テハ生産者ハ非常ニ不利ナ條件デヤツテ居
ル所モアリマス、是等が今回ノ調整ニ依リ
マシテ十分ニ取締ガ出來、地方長官モ之ニ對
シテ從來ノ立場ヨリモ一層力強ク働キ掛ケ
ルト云フコトガ出來得ルト思フノデアリマ
シテ、其ノ方面ニ於テ、農家ハ一層安定シ
タ狀態ニ於テ仕事が出來テ行ク譯デアリマ
ス、又サウ云フ風ニ致シマスト、生産方面
ニ於キマシテ、從來其ノ乳ノ運搬其ノ他ニ
ノデアリマスガ、ソレ等ノ無駄ガ省ケル、
從ヒマシテ是ハ生産費ニモ影響ヲ及シテ參
ル、斯ウ云フ風ナコトガアリマスシ、又共
同シテヤリマス結果、從來ヨリモヨリ優良
モ從來一等乳デアリマスモノガ一等乳ニ、
等外乳デアツタモノガ又二等以上ニナルト云
フヤウナコトニ相成リマスカラ、農家トシ
テモ知ラズ識ラズノ間ニ利益ガ舉シテ來ル、

○政府委員(岸良一君) 此ノ法案ノ運用ニ
依ッテ、只今御説明申上ゲマシタヤウナコ
トガ間違ナク達セラレルカドウカト云フ御
整法ガ出來マシテ、之ノ運用ニ依リマシテ、
牛乳ノ生産部面ト、加工部面トノ從來ノ相
處摩擦ガナクナリマスレバ、農家ト致シマ
シテバ、其ノ知ラザルニ付ケ込ンデ色々々ナ
者ハ之ガ大部分ヲ占メルモノハ農家デアリ

ソレハ現在ノ市價ヲ動カサナクテモ擧^ゲテ來ル、斯ウ云フ風ナ仕事ノ安定ノ方ニ於テモ、利潤ノ方ニ於テモ利益ガアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ之ヲ受ケル加工業者ニ於キマシテモ、從來灑立シテ居ツタ地方ニ於キマシテハ、要ラザル所ノ費用ヲ使ツテ、サウシテ其ノ乳ヲ集メルノニ苦勞ヲスル、ナカニヨットヤソットノ獎勵ヲ致シマシテモ集リニクイ、斯ウ云フ狀態ガナクナリマスノデ、是等ノ費用ヲ或場合ニハ建設ノ方面ニ向ケテ行クト云フコトモ出來申シマスト、現在生産致シテ居ルモノヨリ

モ、例ヘバ煉乳ノ如キモノハ四倍モノ能力ガアルノデアリマス、ソレ等ガ今ノヤウナ狀態デアリマスト、十分ニ活用出來ナクナッテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ是ガ安定シテ參リ、生産方面ニモ努力ガ加ヘラレテ、サウシテ別ノ豫算デ御要求申上ゲテ居リマス所ノ生産力擴充ノ方面モ伴^ツテ參リマスレバ、乳ヲ澤山ニ集メルコトガ出來マシテ、結局仕事ハ能率的ニナリ、生産費ガ下ッテ來ルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、ソレダケノ餘裕ガ付イテ參リマスレバ輸出ニ於キマシテモ、又生産物資ノ販賣ニ於キマシテモ、他ノ資材ガ相當ニ騰リマシテモ、

ソレハ現在ノ市價ヲ動カサナクテモ擧^ゲテ來ル、又是ハ輸出ノ方面ニ於キマシテモ、利潤ノ方ニ於テモ利益ガアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ之ヲ受ケル加工業者ニ於キマシテモ、從來灑立シテ居ツタ地方ニ於キマシテハ、要ラザル所ノ費用ヲ使ツテ、サウシテ其ノ乳ヲ集メルノニ苦勞ヲスル、ナカニヨットヤソットノ獎勵ヲ致シマシテモ集リニクイ、斯ウ云フ狀態ガナクナリマスノデ、是等ノ費用ヲ或場合ニハ建設ノ方面ニ向ケテ行クト云フコトモ出來申シマスト、現在生産致シテ居ルモノヨリ

マスノデ此ノ法ガ實施サレマスナラバ、從來非常ニ苦ンデ居ツタ禍根ガ順次一掃サレマシテ、今ノヤウナ合理化サレタル狀態ガ現レテ來ルコトト期待致シテ居リマス

○男爵岩村一木君 只今御話ガゴザイマシタ中デ、二等乳ガ一等乳ニナルト斯ウ云フ御話デアリマシタケレドモ、是ハ何ヲ基準トシテ二等乳カラ一等乳ニナルノデゴザイマセウカ

アリマスガ、之ニ不足ヲ來スヤウナコトハナイモノデゴザイマセウカ、一般ニ夏ハ牛乳ガ多クナリ、冬カラ春ニ掛ケテハ減ルト云フ實情ダサウデアリマスルケレドモ、昨年ハ其ノ夏デサヘモ非常ニ少カッタノデ、此ノ春カラ初夏ニ掛ケテハ更ニ減リハシナイカト、斯ウ云フ風ニ氣遣^ツテ居ル人モノ

アリマスガ、其ノ見透シハドウデアラウカ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙此ノ牛乳ノ減少致シマシタ理由トシテハ、乳牛ガ非常ニ少クナッタト云フコトガ一大原因ヲ成シテ居ルト思ヒマス、之ニハ飼養管理ノ飼養管理ヲ指導監督シ、蕃殖障碍其ノ他ノ疾患ヲ治療セシムルコト、此ノ三箇條ガ

舉^ゲテ居リマス、多分是ハ農林省ノ方ニモ陳

情ガ參^ツテ居ルコト思ヒマスルガ、之ヲド

ウ云フ風ニ御考ニナッテ居ラレルカ、之ニ付

テ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 第一點ハ、此ノ法案

ニ依ルト只今ノ所、牛肉ノ値段、或ハ牛皮

ノ値段ト云フモノガ非常ニ高イノデ、採算

スガ、唯單ニ採算上ノ爲ニ是等ノモノヲ、

尙十分ニ低廉ナル品物ヲ市場ニ送リ出スコ

トガ出來ル、又是ハ輸出ノ方面ニ於キマシ

テモ他ノ外國品ト競争シテ十分其ノ地盤ヲ

ルト思^ツテ居リマスカラ、一應御覽ヲ願ヒマ

獲得シテ行ケル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ

マスノデ此ノ法ガ實施サレマスナラバ、從

來非常ニ苦ンデ居ツタ禍根ガ順次一掃サレ

マシテ、今ノヤウナ合理化サレタル狀態ガ

現レテ來ルコ御考ニナッテ居ラレルカ、政府

ハ固ヨリ、先程モ申シマシタヤウニ病

人等ノ飲料ト云フヤウナ關係モアルコトデ

ハ此ノ際ニ此ノ乳牛ニ對シテハ適當ナ保護

フヤウナ風ニ御考ニナッテ居ラレルカ、政府

ハ此ノ際ニ此ノ乳牛ニ對シテハ適當ナ保護

トハ起キナイダラウカト、斯ウ云フ點ダラ
ウト思ヒマスガ、先程御話ヲ申上ダマシタ通
デアリマスガ、御懸念ノ點御尤デアルノ
リニ、此ノ酪農業調整法ト相竝ビマシテ、
一方ニ於テ生産力擴充ノ豫算ヲ御審議願ッ
テ居リマスルガ、ソレガ實行ニ當リマシテ
ハ、大體現在ニ於ケル所ノ飲料乳ノ供給ヲシ
テ、現在ノ人口ノ増加及ビ一人當ノ消費量
ノ増加ニ伴ツテ十分供給出來得ルヤウニ致シ
テ居リマシテ、サウシテ其ノ餘力ヲ以テ輸
出ヲシヨウトスウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第
ナノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ
事ヲ缺カナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ル
ノデアリマス、毎年夏ニナリマスルト、大
都市方面ニ於キマシテハ、單ニ飲料乳トシ
テバカリデナク、或ハ「アイスクリーム」デ
アリマストカ、色々嗜好形態ニ於テモ其ノ
消費が増加シテ參ルノデアリマスルガ、此
ノ調整法ガ出來マシテサウシテ是等ノ需給
關係ヲ見透シマシテ、其ノ配給ヲ合理的ニ
ヤリマスレバ、ソレ等ノ苦痛モ除カレテ來
ルコトト思フノデアリマス、飲料乳ニ付キ
マシテハ十分注意ヲシテ、支障ノナイヤウ
ニヤッテ行キタイト考ヘテ居リマス、次ニ乳
牛頭數ガ減少ヲスル、是ハ牛肉ノ値段、牛
皮ノ値段ガ高クナル、サウ云フヤウナ傾向

デ、マダ十分ニ使ヘル乳牛ガ屠殺サレテ行ク傾向ガアルガ、之ニ對スル對策ハドウデアルカト云フ御質問デアツタ思リマスガ、乳牛ノ頭數ハ、御手許ニ差上ゲマシタ資料ノ中ニモゴザイマスルガ、幸ニ年々增加ヲ致シテ居ルノデアリマス、最近サウ云ツタヤウ「ナ現象ガ見エテ居リマスルガ、大體ニ於テハ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、更ニ先程申上ゲマシタヤウナ生産力擴充ノ施設ニ依リマシテ、一方ニ於キマシテハ、從來各地ニ見ラレテ居リマスル所ノ蕃殖障害ノ傳染病ヲ制壓シテ、一方ニ於キマシテハ、之ニ配置スル所ノ種牡牛ノ頭數ヲ増加シテ行キマスルナラバ、其ノ頭數ニ一層拍車ガ掛ケラレテ行クグラウト思ヒマスノデ、其ノ點增加ノ傾向ヲ十分ニ維持シテ行ケルト思ツテ居ルノデアリマス、唯如何ニモ大切ナ資源デアリマスルノデ、御話ノ如キコトニ付キマシテハ、昨年以來乳牛ノ屠殺ノシテ各地方廳ヲシテ之ガ抑制、保護ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙此ノ點ニ付バナラヌト考ヘテ居ルノデアリマシテ、第3段ニ御話ニナリマシタ請願ニ申サレテ居

ルヤウナ點ニ付テモ、十分考慮ヲシテヤツト
行キタイ、之ニ對シテハ或ハ法律ノ如キヲ
以テ屠殺ヲ禁止スル、或ハ移動ヲ禁止スル
ト云ツタヤウナ御議論モアルノデアリマスル
ケレドモ、ソレ迄行カナクトモ、行政的ノ
措置ニ依ツテソレヲ阻止シテ行ク方法ヲ先づ
執ツテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス
ガ、是ニ付キマシテハ或ハ地方ニ於ケル
所ノ牛乳生産ヲ増加サセ、サウシテ現在不
自然ナ環境ニ在ル所ノ農村ニ於テ乳牛ヲ餘
計飼ハセルヤウニスルト云ツタヤウナ方面
ノ指導モ必要ト考ヘテ居リマス、色々サウ
云フ行政上十分ニ注意ヲ拂ツテ努力ヲ致シ
タイト考ヘテ居リマス

少ハ、主ニ屠殺ニ因ル減少デセウカ、ソレトモ病氣トカ其ノ他ノ障害ニ因ツタモノデアリマセウカ。

○政府委員(岸良一君) 只今申上ゲマシタノハ屠殺ニ因ツタ減少デゴザイマス

○男爵岩村一本君 參考資料中ニ、農家産乳ノ取引概況ト云フノガゴザイマスレドモ、是ハ一般、狀況ト地方別概況トニ分レテ居ッテ、地方トシテハ六地方ニ分ケテ、細カク當局ガ説明ヲ書カレテ居ルヤウデアリマスルガ、未ダ私ハ能ク詳シク讀ミマセヌガ、地方々々ニ依ツテハ之ガ取引ト云フモノガ非常ニ違ツテ居ル箇所ガアルノデアラウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙北海道ノ生産乳ノ殆ド全部ハ、產業組合關係ノ北海道酪農販賣利用組合聯合會ガ、一手デ以テ道内ノ各地ノ組合ヲ經テ之ヲ買上げ、煉乳用ノ原料ハ此ノ聯合會カラ各製酪會社ノ工場ニ配給サレルト云フコトデアッテ、此ノ聯合會自身デモ製酪事業ヲシテ居ル關係モアリ、又產業組合關係以外ノモノノ工場ニハ、ドウモ此ノ聯合會カラノ配給ガ薄イ、斯ウ云又産業組合關係以外ノモノノ工場ニハ、ドウモ此ノ聯合會カラノ配給ガ薄イ、斯ウ云フヤウナコトモ聞キマスルシ、又一方先程申上ゲマシタヤウニ、乳牛ガ各地方ヘ移サレ、屠殺ノ關係デ少クナリマスモノデ、牛

乳モ減ツタト云フ關係カラシテ、生産者ノ方
ガ乳價評定委員會デ標準乳價ガ決定致シテ
居ルニモ拘ラズ、ソレデモ値ノ良イ自分ノ
氣ニ入ツタ勝手ナ方ヘ行ク、ソレガ爲ニ統制
ガ取レナイト云フコトモ聞イテ居リマス、
外ノ地方ト異ッテ、所謂產業組合系統ノ酪聯
ガ一手デヤルコトデアリマスカラシテ、其
ノ影響モ非常ニ多イコト思ヒマスノデ、
此ノ真相ヲ當局カラ伺ツテ置クノガ本案ヲ
審議スルノニ必要デアラウト思ヒマスカラ、
御説明ヲ詳細ニ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(岸良一君) 只今ノハ、取引狀
況ガ全國的ニドウ云フ風ニナツテ居ルカト云
フ御質問デアツタト思フノデアリマス、此ノ
販賣業者乃至ハ加工業者ト生産業トノ間ノ
取引ノ狀況ハ、是ハ殆ド似タヤウナ形ヲ取ツ
テ來テ居ルノデアリマスルガ、細カク分ケ
マスレバ、北海道ノ如ク全區域ニ亘ツテ統制
ヲ取ツテ、サウシテ其ノ團體カラ利用スル者
組合ト、色々ナ條件ヲ變ヘテサウシテ小サ
イ組合トヤツテ、同ジ地域ノ中ニモ色々ナ形
ト、ソレカラ小サナ部落ノ團體或ハ小サイ
ノ團體ノ取引ヲヤツテ居ルト云フヤウナ所
モアリマスシ、又個人々々ノ間ニ約束ヲシ
テヤツテ居ルモノモアリマス、大體ニ於テハ

乳ノ供給ニ對シテ、相當期間之ヲ供給スルト云フヤウナ状況ニナッテ居ル所モアリマス、併シ是ハ一方ニ於テ生産者ノ爲ニ非常ニ不利益ナ形ニナッテ居ル所モアリマスルシ、一方ニ於テ生産者ノ方カラ之ヲ打破ツテ大體サウ云フヤウナ状態ヲ示シテ居ルノデ行クト云フヤウナ所モアルノデアリマス、ゴザイマス、申上ゲマシタ北海道ノ乳ノ問題ハ、只今御質問ノ第一點ト思フノデアリマスガ、北海道デハ大正十五年頃カラ生産者團體ニ於テ非常ニ乳ノ取引ニ付テ自覺ヲシテ參リマシテ、サウシテ所謂北海道酪聯ト云フ團體ヲ作リマシテ、サウシテ全面的ニ乳ノ取引ヲ統制致シマシテ、サウシテ此ノ團體カラシテ煉乳業者ノヤッテ居リマスル所ノ工場ニ供給ラスル、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、其ノ供給ハ地方々々ニアリマス所ノ集乳場ニ集メテ、サウシテソコデ會社ト自分ノ工場トニ使フ量ヲ分ケテ居道廳ノ告示ニ依ル所ノ價格ノ評定委員會ガル譯デアリマス、其ノ價格ニ付キマシテハシテ價格ヲ決メテ居ルノデアリマス、只今デハ北海道一圓殆ド同ジヤウナ風ニ相成ツテ居リマス、併シ其ノ價格ノ最後ノ決定ハ道廳長官ノ判定ニ保留セラレテ居ル譯デア

リマス、供給乳量ニ付テハ先程申上ゲマシタ通り、一様ノ分ケ方ヲ會社カラヤル、責任ヲ以テソレヲヤルト云フコトニナッテ居リマスルケレドモ、實情カラ申シマスルト、或ハ其ノ地方ニ於ケル乳量ノ關係等カラ、十分ニ期待シテ居ル程ノ状態ニ行ッテ居ラナイノデアリマス、是等ニ付キマシテハ此ノ統制法等ニ依リマシテ、ソレ等ノ點ヲハッキリヤツテ參リマスレバ、仕事ヲスルコトモ安心シテヤレルコトニナル、斯ウ思ッテ居ル次第デアリマス

ヲ販賣スルノハ、今
ノ煉乳ヲ業者ニ賣ツテ
ニマダ入ラナイモノ
マス、ソレ等ハ或ハ
リマスルガヨソレ等
ニ賣ツテ居リマスル、
メテ少イモノデアリ
○男爵岩村一本君
ハ、今度ノ此ノ法案ニ
ウナ程度程少イノデ
○政府委員岸良一吾
ダト思ツテ居リマス、
シテ居リマセヌ
○農曆岩村一本君
國資本ノ會社モアル
ケレドモ、是ハドノ位
ルノカ、是等ノ會社
ト圓滿ニ協調シテ行
云フコトヲ伺ヒタイ
○政府委員岸良一吾
マスル煉乳工場ノ中
ハ、外國資本ノモノ
ノ關係ニ於テハナイ、
ノガ靜岡縣、又「スイ
カ」系統ノ「カーネー

ノヤウナ形式デ組合員
モ少シクアルノデアリ
居リマスガ、此ノ酪聯
牧場デアルトカ色々ア
ハ各自自分ノ思フヤウ
併シ其ノ量ニ於テハ極
マス

其ノ量ニ於テ少イノ
依ッテ取締ニ洩レルヤ
ゴザイマセウカ

(b) ソレハ極メテ少量
數字ハチヨット持參致

次ニ酪農會社中ニハ外
ト云フコトデアリマス
且外國ノ資本ガ入ッテ居
ハ從來日本ノ酪農會社
ヲ居ルカドウカ、斯ウ
ト思ヒマス

名 現在我ガ國ニアリ
ニハ、煉乳會社ノ中ニ
ガゴザイマス、「バター」
ト思ッテ居リマス、煉乳
マスマガ、其ノ中「アメリ
シヨン」ノ經營シテ居ル
ツルノ「ネッスル」ノ

經營シテ居ルノガ兵庫ノ淡路島、ソレカラ
岡山縣呂久郡ニゴザイマス、デ取扱ッテ居ル
數量ハ、現在「カーネーション」ノ方ガ十五
石位、「ネッスル」ノ方ガ九十石位ニ達シテ居
リマシテ、資本ハ「カーネーション」ト申上ゲ
淡路煉乳、是ハ「ネッスル」デアリマスガ、是ガ
三十萬圓デアリマス、岡山ハ此ノ淡路煉乳
ト同ジ會社デアリマスカラ三十萬圓ノ中ニ
入ッテ居リマス

○男爵岩村一木君 只今資本ノコトヲ伺ヒ
マシタガ、ソレ等ノ外國ノ資本ノ會社ハ、
從來日本ノ此ノ煉乳會社ト圓滿ニ協調シテ
ヤツテ居リマスカドウカト云フコトヲ伺ッテ
見タイ

○政府委員(岸良一君) 是等ノ會社ノ設立
當時ノ經緯ハ、或ハ御耳ニ入ッテ居ルカト思
ヒマスガ、非常ニ紛糾シタンデアリマスガ、
昨年來外國商社ニ於キマシテモ十分現在ノ
日本ノ状況ヲ認識シテ吳レマシテ、現在ハ
全部一つノ團體ニ加入致シマシテ、協力シ
テ輸出其ノ他國策ニ順應シテヤルト云フコ
トデ、協力シテ居ルト云フコトデアリマス、
此ノ間圓滿ニヤツテ居リマス

○男爵岩村一木君 御差支ナケレバ今ノ一
ツノ團體ト云フノハ、名前ヲ……

○付キマシテハ、「バター」ニ付テハ日本
「バター」協會、ソレカラ煉乳事業ニ付キマ
シテハ大日本製乳協會ト云フモノガアルノ
デアリマス、是ハ將來ニ於テ此ノニツヲ通
シテ製酪業組合ニ出サウトスウ考ヘテ居リ
マズ、先程申上ゲマシタ會社モ、全部大日
本製乳協會ニ加入シテヤツテ居リマス

○男爵岩村一木君 サウ致シマスト此ノ法
案が出來レバ當然是モ監督下ニ置クコトガ
出來ル、斯ウ云フ風ニ了承致シマスガ、唯
此ノ外國資本ノ會社ノ決議或ハ決定ト云フ
ヤウナモノハ、取締役會ガアツテモ、取締役
ガ之ヲ承認シテモ、外國關係ノ支配人ト申
シマスカ常務ノ人ノ承諾ヲ得ナケレバ、取
締役會ノ決議ハ無効デアルト云フヤウナ話
ヲ聞キマシタガ、ソレハドウ云フコトニナッ
テ居リマセウカ

○政府委員(岸良一君) 只今或一ツノ會社
デハサウ云フ風ニナツテ居ルヤウデアリマ
スガ、是等ニ付キマシテハ此ノ統制法が出
來マスル際ニハ、十分此ノ酪農業組合ノ中
ニアツテ、ソレノ一員トシテ酪農業組合ノ一
ス、先程申上ゲマシタ傳染性流産ノ如キモ
ス、ソル方法ガ發見サレマシタカラ、北海道ノ
獸疫調查所ノ研究ニ依リマシテ、之ヲ制壓
ト云フモノハ家畜ヲ飼フ上ニ於キマシテハ
丁度耕作ニ於ケル所ノ肥料ト全ク同ジコト
如キハ、其ノ產率ガ非常ニ良クナツテ參

○政府委員(岸良一君) 乳牛ノ衛生ニ付キ
マシテハ一般家畜ト同ジヤウニ家畜傳染病豫
防法ノ運用ニ依リマシテ、其ノ傳染病ニ付
テノ豫防制壓ヲヤツテ居リマス、是等ニ對シ
マシテハ地方ニ職員ヲ配置致シマシテ、サ
ウシテ其ノ職員ヲ督勵シテヤツテ居ル次第
デアリマスガ、此ノ他主トシテ飲料乳牛ノ方
デアリマスガ、結核豫防法ニ依リ検査ヲ致
シマシテ、結核ニ罹ッタモノヲ處分フシテ、
サウシテ健全ナル乳牛ヲ飼育サセテ居ルヤ
ウニ致シテ居リマス、又此ノ疾病ノ豫防、
治療ニ付キマシテハ十分獸疫調查所ノ機關
ニ依リマシテ、斷エズ研究ヲ遂ゲテ居リマ
ス、先程申上ゲマシタ傳染性流産ノ如キモ
ス、ソル方法ガ發見サレマシタカラ、北海道ノ
獸疫調查所ノ研究ニ依リマシテ、之ヲ制壓
ト云フモノハ家畜ヲ飼フ上ニ於キマシテハ
丁度耕作ニ於ケル所ノ肥料ト全ク同ジコト
如キハ、其ノ產率ガ非常ニ良クナツテ參

○政府委員(岸良一君) 乳牛ノ飼料ト云フ
イデニナルノデアリマセウカ、飼料ニ付テ
ソル方法ガ發見サレマシタカラ、北海道ノ
獸疫調查所ノ研究ニ依リマシテ、今日ノ如ク畜產ガ普及シテ
力シ、現在ノ見透シデハ十分達シ得ラレル

○政府委員(岸良一君) ト思ッテ居リマス
ニ付キマシテハ、「バター」ニ付テハ日本
「バター」協會、ソレカラ煉乳事業ニ付キマ
シテハ大日本製乳協會ト云フモノガアルノ
デアリマス、是ハ將來ニ於テ此ノニツヲ通
シテ製酪業組合ニ出サウトスウ考ヘテ居リ
マズ、先程申上ゲマシタ會社モ、全部大日
本製乳協會ニ加入シテヤツテ居リマス

○男爵岩村一木君 先程カラ申シマシタ要
求ニ付キマシテハ、「バター」ニ付テハ日本
「バター」協會、ソレカラ煉乳事業ニ付キマ
シテハ大日本製乳協會ト云フモノガアルノ
デアリマス、是ハ將來ニ於テ此ノニツヲ通
シテ製酪業組合ニ出サウトスウ考ヘテ居リ
マズ、先程申上ゲマシタ會社モ、全部大日
本製乳協會ニ加入シテヤツテ居リマス

○男爵岩村一木君 乳牛ノ衛生ニ付キ
マシテハ一般家畜ト同ジヤウニ家畜傳染病豫
防法ノ運用ニ依リマシテ、其ノ傳染病ニ付
テノ豫防制壓ヲヤツテ居リマス、是等ニ對シ
マシテハ地方ニ職員ヲ配置致シマシテ、サ
ウシテ其ノ職員ヲ督勵シテヤツテ居ル次第
デアリマスガ、此ノ他主トシテ飲料乳牛ノ方
デアリマスガ、結核豫防法ニ依リ検査ヲ致
シマシテ、結核ニ罹ッタモノヲ處分フシテ、
サウシテ健全ナル乳牛ヲ飼育サセテ居ルヤ
ウニ致シテ居リマス、又此ノ疾病ノ豫防、
治療ニ付キマシテハ十分獸疫調查所ノ機關
ニ依リマシテ、斷エズ研究ヲ遂ゲテ居リマ
ス、先程申上ゲマシタ傳染性流産ノ如キモ
ス、ソル方法ガ發見サレマシタカラ、北海道ノ
獸疫調查所ノ研究ニ依リマシテ、之ヲ制壓
ト云フモノハ家畜ヲ飼フ上ニ於キマシテハ
丁度耕作ニ於ケル所ノ肥料ト全ク同ジコト
如キハ、其ノ產率ガ非常ニ良クナツテ參

有畜農業ガドン／＼殖エテ参リマスト、是等ニ對シマシテ常ニ留意ヲシテ施設ヲスルノデナケレバ、畜産ノ生産力擴充ト言ッタヤウナモノハ期待スルコトガ出來ナイノデアリマス、更ニ自由經濟ノ時デアリマスレバ、外國カラ幾ラデモ飼料ヲ持ッテ參ルコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、今ノヤウナ物資ノ需給ノ窮屈ナ時分ニ於テハ、特ニソレヲ考慮スル必要ガアルト思ッテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ對シマシテ私共ガ執ツテ居リマス所ノ方法ヲ御話申上ゲ、尙將來ニ對シテノ特ニ乳牛ノ飼育ニ對シテノ考へ方ニ付テ御参考迄ニ申上ゲタイト思ヒマス、私共ハ現在ノ頭數ガ殖エテ參リマスト粗飼料、粗飼料ト申シマスト草デアルトカ、農產物ノ副產物デアル稻藁トカ、大豆ノ穀トカ、麥藁トカ云フヤウナモノニ付テハ、國內ノ生産ガ六千七百萬「トン」以上アリマスノデ、現在其ノ半分モ利用シテ居リマセヌカラ、十分ニ賄ッテ行ケルトスウ考ヘルノデアリマス、唯是等ノ生産ガ一面ニ於テハ農作物ノ副產物デアリマスノト、季節的ニナルト云フコトガアルノデ、其ノ品質ヲ向上サセルト云フコトノ爲ニ、只今封鎖狀態ニアリマス所ノ「ドイツ」ニ非常ナ勢ヲ以テヤツテ居リマス所ノ「サイロー」建設ニ依リマシ

テ、一番滋養分ノ多イ時ニ粗飼料ヲ貯藏シ
テ、之ヲ一年中ニ利用スルヤウニ努メテ居
ル次第デアリマス、之ニ付キマシテハ現ド
ノ狀況ニ鑑ミマシテ更ニ施設ヲ擴充スペク
追加豫算ノ提出モ致シテ居ル次第デアリマ
ス、其ノ他飼料ニ對シマシテハ色々共同施
設ノ獎勵モ致シテ居リマスガ、此ノ粗飼料
ノ品質ヲ向上サセテ利用スルト云フコトヲ
中心ニシテ自給飼料ノ獎勵ヲヤツテ居リマ
ス、此ノ他國內ニ於ケル所ノ資料資源ヲ殖
ス爲ニ玉蜀黍ノ栽培面積ヲ殖スコトヲ、農
務局關係デヤツテ居リマス、是ハ昨年カラ五
箇年後ニ於キマンシテ約八萬「トン」程ノ生産
ヲスル計畫デ進シニデ居ルノデアリマス、是等
ノ飼料ノ外國カラ入レテ居ツタノデアリマス、
其ノ飼料ノ主ナルモノハ玉蜀黍、ソレカラ
高粱、ソレカラ穀、大豆粕ト云ツタヤウナモ
ノデアリマシテ、其ノ價額モ五六千萬圓ニ
上ツテ居ツタノデアリマス、是等ノ飼料資源
ハ動物榮養上必要ナル炭水化物或ハ蛋白質
ヲ含ムモノトシテ、極メテ大切ナモノデア
リマスノデ、之ヲ確保スルト云フコトガ必
要ナノデアリマス、事變以來其ノ供給ヲ第
三國ニ仰グト云フコトハ非常ニ困難ニナリ
マシタガ、幸ニ滿洲國ニ於テ生産ガアリ、

シテ、ソレニ基イテ飼料配給株式會社ヲ指
定致シマシテ、目下其ノ手ヲ通ジテ輸入ヲ
一方ニハ統制シテ、サウシテ其ノ基本的配
給ヲ行シテ居ルノデアリマス、基本的配給ト
申シマスノハ、一方ニ於テ全購聯ヲ通ジ、
又他ハ從來輸入ヲ確保致シテ居リマス所ノ
保稅地區ニアル所ノ加工會社ニ配給ヲシテ、
サウシテ其ノ手ヲ通ジテ配給シテ居ルノデ
アリマス、唯麿ニ付キマシテハ之ヲ三本ノ
流レニ致シマシテ、一ツハ全購聯、一ツハ
只今申上ガマシタ保稅地區ノ會社、是ハ主
トシテ配合飼料ヲ造ル時ノ原料ヲ供給スル、
他ハ從來ノ麿ヲ取扱シテ居ル業者ヲ通ジテ
之ヲ配給シテ居ルノデアリマス、麿業者ハ
自發的ニ麿配給聯合組合ヲ作りマシテ、手
數料モ相當程度ニ定メマシテ、サウシテ配
給ヲヤツテ居ル次第アリマス、其ノ量ノ確
保ニ付キマシテハ種々苦心ヲ重ネテ居リマ
シテ、將來トモ十分ナル努力ヲシナケレバ
ナラヌト思テ居ルノデアリマス、又一面ニ
シテ居ル飼料ノ種類ニ付キマシテハ、乳牛ト
云ハズ養鷄モ他ノ家畜モアリマスガ、利用
廢ヲ加ヘル必要ガアルノデハナカラウカト

分時局ニ應ジテ進ンデ行クヤウニ努力致シ
タイト考ヘテ居ルノデアリマス

タイト考ヘテ居ルノデアリマヌ

○男爵岩村一木君 先程提案ノ趣旨御説明
中二、裕農中央協議會立ニ地方協議會ト云

中二、酪農中央協議會並二地方協議會ト云

ヤウニ思ヒマスガ、是ガ法案ニナインハド

ウ云フ理由デゴザイマセウカ、尙是ノ構成
ニ付キマシテハ、此ノ重ノ從來ノ委員會ノ

構成竝ニ審議方法ト云フモノハ非常ニ非難ノ多イコトハ御承知デアラウト思フノデ、今度此ノ法案ノ成立シタ曉ニハ十分御注意

其ノ仕組ノ大體ノコトヲ承ッテ置キ タイト
思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 第一回ハ、説明ノ

律ノ中ニ加ヘナカツタ點デアリマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテハ種々研究致シタノデアリマスガ、他ノ例ニ於テモ、此ノ種ノ施設ヲ法令ノ中ニ入レズシテ十分其ノ目的ヲ達シテ居ルト云フノデアリマシテ、サウ云

トヤウナ例ニ做、テヤウタ講テアリマスか、
運用ニ付テハ不可分ナ連絡ヲ取ッテヤツテ行
クト云フ考デ居ルノデアリマス、ソレカラ
内容ノ構成ニ付キマシテハ生産者ノ關係ノ
代表、購入者ノ代表、ソレニ學識經驗ノア

ル方々、地方及中央ノ官吏ト云フ者ヲ加ヘ
ルヤウニ致シマシテ、其ノ構成ノ考ヘ方ニ
付キマシテハ御手許ニ資料ヲ差上ガテアリ
マスルノデ、ソレニ就テ御覽ヲ願ヒタイト

○男爵岩村一木君 從來ノ此ノ種ノ委員會

ト云フモノハ、主ニ官吏ノ方ガ多クテ、サ

ナ事項ニ付テハ、其ノ朝ニデモ提案ヲサレ

テサウシテ之ヲ可決執行サレルト云フノ
ガ、列ノヤウニ思ニマスレノデ、今御注文ヲ

出スト云フコトハドウカト思ヒマスルケレ

ドモ、今度斯ウ云フヤウナ生産業者、酪農業者或ハ飲料乳販賣業代表ト云フヤウナ者

ガアリマス時ニハ、少クトモ半數ハソレ等

ノ業者ヲ以テ占メサスヤウニシタ協議會ヲ構成サレルト云フコトガ、非常ニ運用ニ於

テモ亦非難ノ少イ點デアリ、且御役所トシ

カト思ヒマスガ、其ノ邊如何ナ御考デゴザ
イマ、セウカ

○政府委員(岸良一君) 御注意ノ點十分察

ヲ付ケテ行ク積リデアリマス、固ヨリ一應
ノサウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマスルケレ
ドモ、専門的ノ事項ニ付テハ更ニ特別ノ委
員等モ加ヘテサウシテ參リマスノデ、生産

ノ問題ニ關スル時ニ於テハ、サウ云フ方面ニ關係ノアル人ニ臨時委員等ニ加シテ戴イテ、サウシテヤツテ參リタイト考ヘテ居リマスカラ、十分サウ云フ風ナ方面ノ努力ニ依リマシテ御希望ニ副ヒ得ルヤウニナラウト思ヒマス

○男爵岩村一木君 私ノ法案全體ニ付テ伺ハウト思ッタノハ、大體私質疑ハ終リマシタノデ、本日ハ此ノ程度ニ致シテ置キマス、尙此ノ次ニデモ各條文ニ付テ御審議ノアル時ニ又質疑ヲ致スコトニ致シマス

○委員長(子爵米津政賢君) 此ノ法案ハ昨日上程サレマシテ直チニ本日ノ委員會デゴザイマスカラ、用意ガナイ爲ニ十分法案ヲ檢討サレル暇ガナカツト思ヒマスケレドモ、外ニモ御質問モナイヤウデアリマスカラ、私ヨット一二三聽イテ見タイト思ヒマス、此ノ席カラ質問シタイト思ッテ居リマス、來年度ノ農林省ノ豫算ニ付テデスガ、農林省ノ豫算ノ最モ國策トシテノ方針ハ、生産ノ擴充、農產物ハ増產ト云フ一方ニナツテ居ルシ、併セテ農產物ノ低物價政策ヲ執ラレルヤウニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、米ノ方ハ從來ハ高米價政策デ押シテ來タケレドモ、此ノ非常時ノ國策カラ低米價政策ヲ執ツテ居ラレマスヤウニ拜見シテ居

リマス、其ノ農産物ノ生産擴充ト云フコトハ、非常ニ今日ノ非常時トシテハ最モ緊急ナルコトデハアリマスケレドモ、總テ農產物ノ生産ヲ擴充スル迄ニハ、仕組ニ非常ナ手數ガ掛カル、マア主要ナモノヲ申セバ米ノ増産デスケレドモ、耕地ヲ開墾シタリ、水田ヲ拓イタリ、耕地ヲ増シタリト云フ是ハ容易ナコトデナイ、今日豫算ガ取レテ策ガ立チマシテモ、本當ノ米ノ増産が出來ルト云フノハ、何年先ノコトダカ分ラナイト云フコトモアリマセウ、總テ農產物ハ今計畫シテモ直グニ結果ガ現レテ來ルノデナクテ、又非常ニ其ノ増産シタモノガ、詰リ充實シタ曉ニハ御用ノ方ガナクナッテシマフト云フヤウナコトモ起ツテ、農產物ノ伸縮ノ足取リト云フモノハ、非常ニ普通ノ商工業生産物ヨリハ緩慢デゴザイマス、無闇ニ手計畫ヲ見マスト增産一點張リデアルカラシテ、アレガ全部實現シタ曉ノ、農產物ノ何ト申シマスカ過剰ヲ起スコトニナル、農林省ノ計畫ヲ見マスト增産一點張リデアルカラシテ、アレガ全部實現シタ曉ノ、農產物ノ何年前ノ不況時代ニ持テ餘シタコトハマダ記憶ニ刻マレテ居リマスガ……、ソレカラシテ牛乳ノ増産ト云フヤウナコトニナリマス

ト、殊ニ是ハ貯藏ト云フコトガ利カナイ力ラシテ、非常ナ増産ヲ見テ此ノ計畫通りニ生産サレタ既ニハ、大變ナ生産ガ行ハレマセウカト思ヒマス、ソレダカラシテ輸出ト云フコトニハ、可ナリ増産ノ捌ケロトシテ一つハ輸出ト云フコトヲ考ヘテ居ラレルカト我々ハ想像スル、外貨ヲ獲得スルト云フヲコトハ結構デスケレドモ、輸出先ノ事情ニ付テハ又別ニ輸出ノ問題トシテ伺ヒタイト思シテ居リマスケレドモ、兎ニ角輸出スルト云フ目標デ以テ進ムルト云シテ居リマスケレドモ、此ノ非常時ダカラコソソレデ通リマスケレドモ、内地デ以テサウ云フ物ノ溢レテ來タ場合ニハ、ドンナコトニナルカト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ、大體農林省ノ生産擴充ト云フヤウナコトモ、商工省アタリノ普通ノ工場産物ト同ジヤウナ氣持デ踊ル……ト云シテハ語弊ガアリマスガ、サウ云フ氣風ニ捲込マレテ居ルノデナナイカ、増産スルコトモ容易デナイガ、ソレヲ止メヨウトシテモ止ラナイノガ農產物ノ特徴タカラ、農林省ノ方策トシテハ此邊ノ御方針ハドウ云フ風ナコトニナッテ居リマスカ、チョット同ヒタイト思ヒマス

○政府委員(林謙治君) 只今委員長ノ仰セラレマシタヤウニ、種々ナル問題ニ依リマシテ、最初獎勵ヲ致シマシタコトガ、後ニ減產ヲセシメナケレバナラナイヤウナコト云フモノハ色々ナ品物ニ依リマシテ、サウ云フ事柄ノ起キテ來ルコトハ私共過去ノ経験ニ基イテ幾多アルコトヲ自覺致シテ居リマス、殊ニ繭ナドノ問題ニ考ヘマシテモ、或ハ一時桑園ト云フモノニ或程度制限ヲ加ヘラレタ、斯ウ云フヤウナコトガアツタノデアリマスガ、今日ノ時局柄ト致シマシテハ、ドウシテモ物資ヲ多く造ラナケレバナラヌ、殊ニ海外ヨリ多ク金ヲ取ルヤウニシナケレバナラスト云フコトデ、豫算ナドニ於テモ可ナリノ金額ヲ御要求致シマシテ、御審議ヲ昨日カラ衆議院ニ於テ仰イデ居ルヤウナ状態デアリマス、諸物價ニ付キマシテハサウデアリマスガ、尙此ノ酪農關係ニ付キマシテハ、今日ノ海外市场ニ付テ局長ヨリ詳細ナル御説明ヲ申上ゲルヤウニシタイト存ジマス

私共ノ此ノ増産ノ計畫ニ於キマシテハ、國内ニ於ケル所ノ消費ノ状態、特ニ圓「ブロック」ニ對スル所ノ輸出、即チ圓「ブロック」ニ於ケル需要ノ状態、尙輸出先ニ於ケル所ノ販路ノ状態ト云フモノヲ睨ミ合セマシテ、サウシテ計畫ヲ立テタノデアリマシテ、其ノ趨勢ハ此ノ計畫ヲ更ニ推進メテモ、尙努力次第ニ依ツテ先ガ伸ビルト云フ見込、ヤツテ居ルノデアリマス、御懸念ニナリマシタ輸出ノ場合ニ於キマシテハ、只今乳製品デヤツテ居リマスノハ「バター」ト煉粉乳デゴザイマス、「バター」ニ付キマシテハ「ロンドン」方面ニ參ツテ居ルノデアリマスルガ、「ロンドン」ニ於ケル市場ト云フモノハ世界有數ナ市場デアリマシテ、サウシテ其ノ取扱量モ一年十一億「ポンド」、内地ノ生産ガ五百萬「ポンド」ニ比べテ見マスルト、問題ニナラヌ多額ノ量デアリマス、尙其ノ外ニ「ドイツ」ガ國民保健上必要トシテ輸入シテ居ド程ニナツテ居リマシテ、註文モ今參ツテ、應ジ兼ネルト云フヤウナ状態ニアルノデアリマス、品質ガ上等デアルナラバ、十分是マシテハ現在ヤツテ居リマス北海道ノ「バター」等モ「ニュージーランド」、濠洲等カラ參

リマスル所ノ上等品ト十分拮抗シテ行ケルト考ヘテ居ルノデ
スノデ、其ノ點將來ニ於ケル努力ニ依リマス
シテ、十分應ジテ行ケルト考ヘテ居ルノデ
アリマス、尙煉乳ノ市場ハ、圓「ブロック」
ハ勿論デアリマスルガ、更ニ南洋ニ於テ非
常ニ大キナモノガアルノデアリマス、是等
ノ市場ノ趨向ヲ見マスト、年々其ノ消費量
ヲ増加シテ居ルヤウナ状況デアリマシテ、
現在ニ於キマス所ノ消費量ガ約四百六十萬
箱程ニナツテ居リマス、日本ハ百五十萬程デ
約三倍程ニナツテ居ルノデアリマス、是等ニ
對シマシテ從來種々ノ販路ノ擴張ヲ努力シ
テ居リマスルガ、更ニ一段ノ努力ヲ致シマ
スルナラバ、十分ニ茲ニ計畫シタ如キモノ
ハ消化シ盡シ、消化シ盡スノミナラズ或ハ
尙不足スルコトモ考ヘナケレバナラヌ、斯
カ考ヘテ居ル譯デアリマス、其ノ點十分ニ
注意ヲシテ參リマスレバ、此ノ増産ヲ圓リ
マシテモ、生產品ガ國內ニ溢レルト云フコ
トハナカラウト考ヘテ居リマス

ル農産物ガ輸出サレルト云フコトハ非常ナ
有利ナモノニ違ヒナイ、甘橘トカ薄荷トカ
松島灣ノ牡蠣ノヤウニ、色々ナ天賦ノ風土、
氣候ノ特產物ガ輸出サレルト云フコトハ宜
イカラシテ、酪農ノヤウナ物モ適當ナ酪農
地帶カラ十分ニ生産ヲ舉ゲテ、輸出ガ出來
ルコトハ非常ニ宜シイ、外ノ物デアリマス
ト、原料ヲ外國カラ入レマシテ、毛織
物ノヤウナ物デモ羊毛ヲ外國カラ入レ
ナケレバナラヌシ、ソレカラ紡績ノ關係
ナラバ棉花モ入レナケレバナラヌト云フ
コトデ原料代デ差引カレマスケレドモ、其
ノ國々ノ天賦ノ氣候、風土ニ依ル特色ノ
アル產物デアツタナラバ、非常ニ輸出ハ有利
ダラウ、併シ今迄戰爭前カラ煉乳ナリ何ナ
リ乳製品ノ輸出ハドノ方面デスカ、主ニ南
洋方面ダト承知シテ居リマスケレドモ、ソ
レハボツツノ漸進的ニ今日迄進シデ來テ居
ルニ違ヒナイガ、戰爭以來ノ關係カラ言フ
ト、國際的ニ色々ナ日本品ノ進出ニ對シテ
モ、サウ快ク受入レテ吳レヌノヂヤナイダ
ラウカト思フ、販路ヲ擴張スルトカ、市場
ヲ獲得スルトカ、日本品ニ對スル信用ト云
フモノヲ築イテ行クノニハ、是ハ簡單ニ唯向
フデ消費ノ分量ガ多イカラ、需要ガアルカ
ラト云フコトダケデ、コッチデ一人極メニ輸

出ノ分量ヲ考ヘテ見テモ、ソレ程ウマク行
クモノカ、此ノ酪農業法ニ依ッテ乳牛ヲ生
産シテ、乳製品ヲウント造リマシテモ、其
ノウント造ッタダケノモノガ全部譯モナク
吸ヒ込マレテ、輸出ガ出來ルモノデアラウ
カ、是ハ可ナリムヅカシイ問題デヤナイカ
ト考ヘルノデスガ、第一疑問ニ思ヒマスノ
ハ、乳製品ト云フモノノ市價ガ、詰リ乳製品
ガ餘リ騰貴シテ居ラヌデヤナイデスカ、内
地ハ……、騰貴サセナイヤウナ何カ方法ヲ
執ツテ居ラレルノダカ知レナイケレドモ、騰
貴シナイト云フコトハ餘リ喜ブベキ現象ノ
ヤウニ感ジナイ、外ノ物價ガ非常ニ騰貴シ
マスノニ、乳製品ガ騰貴シナイト云フコト
ハ、乳製品ニ對スル需要ガ必需的ノ關係ガ
ナイカラデヤナイカ、高クナッタナラバ人ハ
食ハズ飲マズトナツデシマフカラ、上ダタク
テモ上ゲラレナイデ乳製品ハ上ラナイノデ
ハナイカ、サウスルト輸出スル爲ニ、原料
トシテノ乳價ハ成ルベク低クシナケレバナ
ルマイシ、サウシテ内地ニ於テノ商品モ外
ノ物ガ軒竝ニ上ルノニ、乳製品ダケハ騰ラ
ヌ、先ヅ不遇ノヤウナ状態デ行カナケレバ
ナラヌト云フト、色々ノ事情ガ……輸出ハ
樂觀サレテ居ルンダカドウダカ、内地ノ消
費ト云フヤウナモノモ今ノヤウナ譯デ、サ

ウ餘力、彈力ト云フモノガアルノダクド立ダカ分ラストルト、サウ計畫通リニ總行クカドウカト云フコトハ、相當疑問ニ老ヘラレルノデハナイカト思フ、ソレデ^ノ鶏卵ナラノヤウナモノハアノ通リ世間ヲ騒スヤウナ騒動ガアリマシテ、日本人トシテ鶏卵ナラバドコノ家庭デモ要ルカラシテ、ソレハ非常ナ騰貴ヲスル、乳製品ノ方ハ仰シヤル通り、非常ナ需要ノ進歩デゴザイマス、唯色ナ菓子ヤ何カノ原料トシテ用ヒラレルモノデモ非常ナ分量デアルトハ思フケレドモ、騰ラヌ所ヲ見ルト、矢張リソレダケニ何カ雲要ニ付テ、ナクチヤナラスト云フヤウナ關係ガナイ故ニ騰ラヌノデヤナイカ、内地ガソンナ工合デ、輸出ニ付テモ確實ナ見通シガナイモノダストルト、計畫倒レニナル心配ハナカラウカト云フコトヲ承ッテ見タイ○政府委員(岸良一君) 乳製品又ハ牛乳ノ市價ガ騰貴シナイトカ、斯ウ云フヤウナコトハ乳製品或ハ乳ト云フモノガ國民ノ食料トシテ大シタ嗜好ト云フコトニハ出デナイノデアルト云フ狀態デアルノニ、其ノ輸出ヲスルトカ云ツタヤウナコトヲ考ヘテモ、實ニ於テハナカヽ行カナイノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスルガ、成ル程乳及ビ乳製品ノ値上リト云フモノハ、他

ノ物價ニ較ベレバ誠ニ少イノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、生乳ニ付キマシテハ、一面市民ノ保健ト云フコトカラ考ヘテ、種々關係當局デモ注意ヲ與ヘテ、成ルベク安イ状態ニ出スヤウニ努力ヲ重ネテ居リマス、愈、生産費ガ高イト云フ状態ヲ見テ、少シ寃上ゲテ居ル状態デアリマスルガ、ソレデモ他ノ物ニ較ベマスレバ、問題ニナラヌ値上リデゴザイマス、乳製品ニ付キマシテモ極ク僅カナ値上リヲ示シテ居リマスルガ、此ノ點モ業者間ニ於ケル所ノ努力ガ相當認メラレルト思フノデアリマス、或ハサウ云フ意味ヲ逆ニ見ルナラバ、相當乳製品ノ仕事等ニ於テハ値幅ガアルノデハナイカト云フコトガ考ヘラマスルガ、一面ニ於テ新シイ事實デアリマスルノデ、御話ノ如ク其ノ利用ト云フ方面ニ努力ガ重ねラレルト思ツテ居ルノデアリマス、此ノ輸出ト云フコトニ付キマシテハ、サウ云フ状態ガアリマスルケレドモ、從來カラ輸出ト睨ミ合シテ乳業ノ經營ヲヤッテ參ッタノデアリマシテ、此ノ輸出ニ依リマシテ、或ハ徒ニ過剰ニナッテ、サウシテ其ノ負擔ニナルベキ部分ヲ早く處分ラスト云フコトニ依リマシテ、サウシテ採算ヲ有利ニ導イテ居タノデアリマス、今後ニ於キマンシテモ此ノ輸

出ル餘計ニスルト云フコトハ、一面ニ於テ先程申上ゲマシタヤウニ、現在ニ於ケル所ノ工場能力ヲヨリ以上ニ發揮スル、即チ割合ニ生産費ヲ安クシテ生産ガ出來ルヤウニナルト云フノデアリマスルカラ、此ノ輸出ト云フコトニ有利ニ、間接的ニ有利ニ導クト云業ヲヨリ有利ニ、間接的ニ有利ニ導クト云フコトニ相成リマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ、却テ國內ノ市場ノ關係ニ於テモ都合好クナルコト考ヘテ居リマス、又輸出ニ付キマシテハ過去ニ於キマシテモ業者モ今ノヤウナ譯合デアリマスカラ、或ハ積立金ヲシテ、サウシテ輸出ニ向ケルトカ、輸出ヲ助ケテ行グトカ云フコトヲヤリマス外ニ、政府ニ於キマシテモ販路ノ開拓其ノ他ニ付テ相當助成ヲヤッテ努力シテ參ツタノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、品質等ニ於テモ現在ニ於テハ他ノ國ノ製品ニ劣ル品物デハアリマセヌ、寧ロ優ルモノデアルト考ヘテ居リマス、デアリマスカラ、其ノ輸出販路ニ付キマシテハ漸次先方ガ日本商品ヲ認識スルニ從ツテ擴大サレテ來ルト、斯ウ確信シテ居リマス

ドモ、公正ナ取引トカ、公正ナ價格トカ、適正ナ云々ト云フヤウナコトガ色々アルノデスケレドモ、生産者ト製造者トノ間ノ公正ナ價格ト云フ意味ハ、何レ賣ル方カラ云ヘバ、高イ程宜イニ違ヒナイ、ソレカラ賣フ方カラ云ヘバ、安イ程宜イニ違ヒナイ、是等初カラ利害ノ對立シタモノノ間ノ公正ナ價格ト云フモノハ、其ノ眞中ト云フ意味ダト云フコトヲ言ツテ居ラレルノデモナイト思ヒマスケレドモ、ドッチカニ偏レバ、コチラノ一方カラ云ツテ公正デナインデスケレドモ、公正ナ價格トカ公正ナ取引ト云フ公正ト云フ意味ハ、兩方ノ中間ト云フ意味デスカ、ソレヲ調整シテ、其處ニ落著ケテヤルト云フ意味デアルカ、生産者ノ方ニ偏ツタ重點ヲ置イタ意味デアルカ、ソレトモ輸出ノ關係カラシテ製醸業者ノ方ニ重點ヲ置イタ意味ノコトヲ言ハレルノカ、サウスルト、公正ト云フ文字ハ妥當デナイヤウニ考ヘマスガ、唯中間ヲ採ルト云フコトハ餘リ通俗的ニ感ジマスルガ、能ク審議スルノニチヨック豫メ伺ツテ置カナイト分ラナイノデスガ、説明ヲ願ヒタイ

御話ノ如ク丁度半々ニナルト云ッタヤウナ
考バカリデハナイノデアリマス、輸出ヲサ
セマシタガ爲ニ、工業者ニ特ニ不利益ニナ
ルヤウナコトニ相成ラヌヤウニ一面ニ於テ
ハ適當ノ方法ヲ講ジテ居リマス、要スルニ
私共ハ此ノ法案トシテ生乳業、製酪事業ヲ
中心ニシテ、牛乳ノ生産者ト加工業者トハ
共存共榮ノ考ヲ以テ調和シテ行クト云フ所
ニアリマスノデ、即チ各々ノ立場ガ公平ニ認
メラレルヤウニシテ行キタイ、即チ一方ニ
於テハ牛乳ノ生産費ト云フモノト、一方ニ
於テハ其ノ時ニ於ケル所ノ需給ニ基ク販賣
値段及ビ工業者ノ生産費、廣イ意味ノ生産
費デアリマシテ、經營費モ入リマスガ、ソ
レ見較ベマシテ、何レモ一方ニ特別ニ偏
スルト云フコトハナイヤウニシテ行キタ
イ、斯ウ考ヘルノデアリマス、唯衆議院等
ニ於テ懸念サレマシタノハ、加工業者等ハ
割合ニ强大ナ資本ヲ持チ、社會的ニモ有利
ナ地位ニアルノデ、動モスレバ其ノ立場ガ
有利ニ展開シテ、其ノ生産者ガ不利益ナコ
トハナイカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ隨分強ク
御質問ニナリマシタノデアリマスガ、私共
ハ此ノ法案ニ依リマシテ又一方ニ於キマシ
テ酪農協議會等ニ於ケル所ノ話合、又之ニ

茲ニ加工業者ノ方面ニ亘ツテ、何レモ十分ニヤツテ行カウト考ヘテ居リマスノデ、ソレ等ノ資料等ヲ睨ミ合セマシテ、兩者ノ立場ニ不公平ノナイヤウナ形デ決メルヤウニシテ行キタゞ、是ハ實際ノ問題トシテハナカナカ困難デアリマセウト思ヒマスルガ、醡農協議會等ニ於テ十分論議ヲ盡スコトニ依リマシテ、妥當適正ナモノガ得ラレルコトヲ考ヘテ居リマス。

○委員長(子爵米津政實君) チヨシトモウ
少シ細カイコトニナルノデアリマスケレド
モ、此ノ法案ノ諸所ニ見エルコトデスケレ

○政府委員(岸良一君) 公正ト云フ觀念デ
アリマスガ、是ハナカニ御議論ノアル所
デアルト思フノデアリマスガ、私共ハ只今

ハ此ノ法案ニ依リマシテ又一方ニ於キマシテ酪農協議會等ニ於ケル所ノ話合、又之ニ關係シマシテ、私共ガ生産費ヲ牛乳生産者

レドモ、生産、販賣ノ調節ヲヤルニ付テハ、
ドウシテモ或ハ企業ノ合同ト云フコトモ、
或ハ組合ノ形デアルカ、資本ノ合同デアル

カ、是非必要ガアルノデアリマス、其ノ結果、サウ云フ、ヤウナコトガアルノデハナイカ、ソレヲ統制シタ結果、費用ガ大變高ク付キマシテ、値ヲ引上ゲマスカラ大體ゴマカシガ付イテ行クノデアリマスケレドモ、ヤラナンダ時ヨリヤッタ時ノ方ガ值ガ上ル、例ヘ「マッチ」ノ如キ是ハ商工省關係デアリマスガ、大變高イモノ付イテ、其ノ間ニ費シテ居ル費エト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデアル、サウ云フ摩擦、相剋ハ無論ノ話、失業者ガ生ズルト云フヤウナコトハ、増産ノ反對ノ結果ヲ生ズルヤウナコトガ起ル場合モアルノデスガ、ソレ等ニ對シテノ御心配ハ無イモノデスカラ○政府委員（岸良一君）此ノ統制ヲヤッタ結果、失業者ヲ生ズルヤウナ問題ハ無イカト云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ組合ノ内容ヲ御覽下サイマシテモ、別段サウ云フヤウナ方面ヲ企圖シテ居ル譯デアリマセヌノデ、寧口現在ヤッテ居ルモノニ安定ヲ與ヘヨウト企業ノ合意ヲ之ニ依ツテ促進サセタリスルヤウナコトヲ考ヘテ居リマセヌ、或ハ當業者間ニ於テ詰合ガ出來マシテ、サウ云フヤウナ仕事ノ合意ヲサレルト云フコトハアルカモ

昭和十四年三月十七日印刷

昭和十四年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局

モ出來ル、合同ノ結果、サウ云フ、ヤウナコトガアルノデハナイカ、ソレヲ統制シタ結果、費用ガ大變高ク付キマシテ、値ヲ引上ゲマスカラ大體ゴマカシガ付イテ行クノデアリマスケレドモ、ヤラナンダ時ヨリヤッタ時ノ方ガ值ガ上ル、例ヘ「マッチ」ノ如キ是ハ商工省關係デアリマスガ、大變高イモノ付イテ、其ノ間ニ費シテ居ル費エト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデアル、サウ云フ摩擦、相剋ハ無論ノ話、失業者ガ生ズルト云フヤウナコトハ、増産ノ反對ノ結果ヲ生ズルヤウナコトガ起ル場合モアルノデスガ、ソレ等ニ對シテノ御心配ハ無イモノデスカラ○政府委員（岸良一君）此ノ統制ヲヤッタ結果、失業者ヲ生ズルヤウナ問題ハ無イカト云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ組合ノ内容ヲ御覽下サイマシテモ、別段サウ云フヤウナ方面ヲ企圖シテ居ル譯デアリマセヌノデ、寧口現在ヤッテ居ルモノニ安定ヲ與ヘヨウト企業ノ合意ヲ之ニ依ツテ促進サセタリスルヤウナコトヲ考ヘテ居リマセヌ、或ハ當業者間ニ於テ詰合ガ出來マシテ、サウ云フヤウナ仕事ノ合意ヲサレルト云フコトハアルカモ

スル爲ニ特ニ失業者ガ出來ルカト云フ點ハ、新シク地盤ガ出來ル方面ニ於テハ勿論サウ云フ心配ハアリマセヌガ、古イ地盤ニケレドモ、一面ニ於テ其ノ供給量ヲ殖ス爲ニ、其ノ地方ノ牛ヲ殖スト云フコトヲヤリマスノデ、現在ノ仕事ガ却テ安定シテ行クコトニナリマスカラ、サウ云フコトハナイマスノデ、現在ノ仕事ガ却テ安定シテ行クノデハナイカト考ヘテ居リマス

○委員長（子爵米津政賢君） デハ御質問ゴザイマセヌケレバ、本日ハ一段落トシテ委員會ハ終リタイト思ヒマス、尙申上ゲテ置キマスケレドモ、明日ハ午前十時半カラ開會スルコトニ致シマス、事務局ノ方面ニ色々都合ガアリマシテ、大變半端ノ時間デアリマスケレドモ、十時半カラ開會致シマス午後三時十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵米津 政賢君	農林參與官 林 謙治君	瀧川 儀作君
委員 侯爵西郷吉之助君	農林省畜產局長 岸 良一君	油井 德藏君
男爵岩村 一木君		
有賀 光豊君		
岡田 文次君		